

令和3年度「第6回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」の受賞者

「第6回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」の受賞者とその功績は次のとおりです。

「第6回 貝原俊民美しい兵庫づくり賞」受賞者（2団体、1個人）

氏名／団体名	功 績 等
北須磨団地自治会	<p>昭和43年(1968)8月11日に発足。</p> <p>発足当初から住民主体の自治や地域コミュニティの醸成に力を入れ、行政とも協働して団地内の基盤整備や自治会館、児童館などの各種施設の整備を図っている。設立当初は住環境整備、その後は子育て支援、障害者福祉、防犯活動など、コミュニティづくりにも取り組み、交流の場として、料理教室、地域健康体操など幅広く開催。近年は多くのニュータウンに見られるように高齢化が著しく「寝たきり老人ゼロ」を目標にした各種事業を展開している。</p> <p>平成9年(1997)に起きた神戸連続児童殺傷事件後、地域の防犯活動の在り方を再検討し、住民が主体となって「安全安心」を掲げ、民間交番「防災防犯センター」を設置。地域の4団体が交代で当番を務め、防犯活動の拠点として毎月第4土曜に夜間パトロールをするなどの活動を行っている。</p> <p>こうした安心安全へ地道な活動が高く評価され、令和2年「安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰」（法務省、警察庁）を受賞した。</p> <p>自治会役員や住民が主導する施設として団地の開発者などで設置した社会福祉法人北須磨保育センターは、住民が理事や評議員として運営に積極的に参加。相互協力し、「共助・共生のまちづくり」や「自主福祉の実現」といった活動方針を具現化している。</p>
おのガーデニングボランティア	<p>小野市の「ひまわりの丘公園」の開園にあわせて、平成13年(2001)12月に「市民に親しまれる公園づくり」「美しい空間づくり」「市民の参画と協働を实践」を趣旨に設立、今年で活動20年を迎える。</p> <p>会員数は95名、小野市外の会員も増えている。</p> <p>当初は、市内公共施設での植栽と手入れを中心に活動をしていたが、平成16年(2004)からは、植栽に用いる花苗を種から育てる「育苗」にも取り組み、年間約13万ポットを種から育成し、そのうち約半数を「花いっぱい運動」として自治会、緑化団体、教育施設等130か所に配布し、これまでに総数約228万ポットを生産した。</p> <p>現在は「大池総合公園市民広場」「白雲谷温泉ゆびか」「国道175号沿い」等、公共施設の植栽、管理も実施している。</p> <p>花を活かした「色と香りによるまちづくり ガーデニングシティONO」を目指した活動と、それらを支える人づくりを行政と一緒に取り組んでいる。</p> <p>設立から20年を迎え、会員は、より専門性の高いガーデニング学習に積極的に参加し、自己研鑽に励み、自らが培った知識・経験・技能を継承し、絶え間ない活動は生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>

氏名／団体名	功 績 等
<p>山崎 清治 [特定非営利活動 法人生涯学習サポ ート兵庫 理事 長]</p>	<p>昭和 47 年(1972)生まれ。 姫路工業大学 (現 兵庫県立大学) への入学を機に子どもたちのキャンプリーダーとしてボランティア活動にかかわるようになる。卒業後は財団法人姫路 YMCA に入職し、青少年育成、地域社会活動に携わる。</p> <p>平成 15 年(2003)4 月、青少年活動や生涯学習の普及を目的とした特定非営利活動法人生涯学習サポート兵庫を設立。</p> <p>以降、理事長として兵庫県徒歩縦断プログラムや無人島一週間自給自足プログラムなどの社会教育プログラム等を通じて子どもたちの「考える力」や「行動力」の涵養に取り組むなど、青少年育成活動を中心に「結果」が重視されやすい社会において、「過程」の中で成長していく大切さを子どもから高齢者まで幅広い世代に伝えている。</p> <p>平成 29 年(2017)には廃止された公設野外教育施設を購入し、民間のアウトドア教育施設「神戸三田アウトドアビレッジ TEMIL (テミル)」としてリノベーションし、運営を開始した。</p> <p>青少年育成、子育て支援など新たな取り組みに挑戦しつつ、NPO 法人の運営に対する知識も豊富であり、アドバイザーとしても積極的に活動。平成 24 年(2017)にはTUTAYA全国講師オーディション最優秀グランプリを受賞するなど、活動範囲を全国に広げ、子育て支援や青少年健全育成に貢献している。</p>